

普及だより

発行所

海草振興局
地域振興部農業振興課
〒640-8585
和歌山市湊通丁北1丁目2番1号
(県庁南別館)

TEL:073-432-4111(代)
073-441-3380(直)
FAX:073-441-3476



田植え体験



稲刈り体験



桃のお話し



柿のお話しと柿料理

いきいき楽しく食べる！学ぶ！

県では、小学生を対象とした食育活動において、日本人の主食であるお米の農業体験や、県産果実のお話講座を実施しています。この取り組みは、時代を担う子供達の農業への理解を深め、食に対する感謝の気持ちを醸成することを目的としたものです。農業体験では、「田植え」と「稲刈り」を実施。稲刈りでは、刈り取った稲を束ねて「はざかけ」を行い、落ち穂を残さず集めてお米を大切にすることを学びました。お話講座では、県産果実（うめ、もも、かき、みかん）の栽培や生産状況などを紹介。子供達は慣れない手つきで果実の皮むき体験や調理実習をおこないました。「今まで食べた中で一番美味しいももだった」、「うめのヘタを竹ぐしで取るのが楽しい。うめジュースを家でも作りたい」という声も聞かれました。これからも、「食の大切さと楽しさ」を伝えていきたいと思ひます。

「しもつみかん」の強みを活かした産地づくり

「しもつみかん」は、海南市下津町産の本格貯蔵みかんとして、地域団体商標を取得していますが、最近では温暖化の影響もあり、浮き皮や果皮障害が発生し、高品質な貯蔵みかんを安定して提供することが難しくなっています。そこで、農業振興課では、JANAがみね、しもつ柑橘部会と協力し、隔年結果性が小さく、収益性の高い、丹生系温州の優良系統の普及に取り組んでいます。貯蔵性の高い品種や新たな貯蔵法の導入によって、より良いみかんをより長く出荷できる貯蔵産地を目指していきます。



優良系統の着果状況



土壌消毒現地試験

施設しょうが栽培における土壌消毒現地試験

土壌消毒剤は処理時に刺激臭等のあるものも多く、市内の住宅等と隣接するほ場では処理時の漏臭等が問題となります。現在、県では国の事業を活用し、生産者の協力を得ながら、関係機関と協力して、ディ・トラペックス油剤ほか複数の薬剤を用いて現地試験に取り組んでいます。今後、26年産の新しょうが収穫まで調査を実施し、都市近郊型農業に適した土壌消毒剤の選定を行う予定です。これまでの研究成果については、「脱臭化メチル栽培マニュアル」として取りまとめられており、中央農業総合研究センターのHPからダウンロード可能です。

http://www.naro.affrc.go.jp/narc/contents/post_methylbromide/index.html

果樹園の省力化を進めるのは「今でしょ!!」

農作業は、収穫・出荷を始め、施肥、土作り資材の投入等、作業の多くが運搬作業といえます。傾斜地ほ場では、園内から基幹農道まではモノレール運搬機が普及していますが、積み替え作業が必要であり、作業の効率が劣ります。将来の経営を考えて、省力化、軽労働化を図る園内道を設置してはどうでしょうか？今なら下記の補助事業が活用できます。

園内道を設置できる事業

	果樹産地再生緊急対策 (県単事業)	果樹経営支援対策 (果実基金事業)
対象面積	2 a 以上	10 a 以上
補助率	1/4 以内 同事業で改植とあわせて 行う場合は1/3 以内	1/2 以内

注) 地域や事業の内容によっては活用できない場合があります。まずは農業振興課へご相談ください。



事業を活用して設置された園内道(園の縁に沿って整備されています)



園内道の排水性を考慮して溝を設置されています

4Hクラブ、販売イベント出店中!



軽トラ市

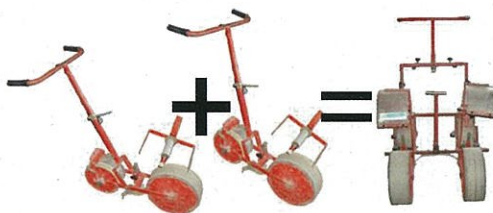


県青年農業者会議で最優秀賞受賞

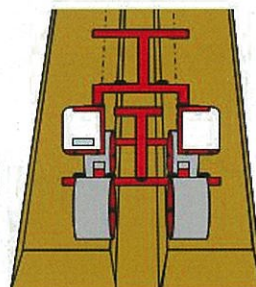
クラブ員が生産した農産物の対面販売活動に取り組んでいます。海南市で開催されている「海南市軽トラック市」(毎月第2日曜日9~11時:JR海南駅西口広場)をはじめ、管内で行われる地域特産物の販売イベント(「わかやマルシェ」(和歌山市)等)に出店中です。クラブ員ご自慢の新鮮な農産物を多数取り揃えています。お立ち寄りの際は、彼ら若手農業者の作る野菜や果物をぜひともご購入ください。なお、平成25年度和歌山県青年農業者会議(平成26年2月7日開催)にて、クラブ代表の中西康介さんがこの活動について発表を行い、見事最優秀賞を獲得しました。

ちょっとひと工夫

ここでは、農作業の省力化を図るため、ちょっとした工夫をしている事例を紹介します。ホウレンソウなど葉菜類の播種にはシーダーテープ播種機が用いられています。2条時きの播種機も市販されていますが、指導農業者 泉政一氏は1条時きの播種機を2台連結し、2条時きの播種機に改造して、播種作業の省力化を図っています。自分好みの機械を自作できるのも農業の楽しみですね。



1条時き + 1条時き = 2条時き



畝間を歩いて播種作業

研修生活動事例 がんばっています！



研修生：宮尾 信廣 氏 (39) [海南市]
 研修先：谷口 雅利 氏 [海南市]
 研修期間：H24.10～H26.6 (予定)

自営業を営んでいましたが、近所の農家を手伝う中で農業に興味を持つようになり、自分も農業で生計を立てたいと考えようになりました。祖父の代までみかん農家だったこともあり、現在、みかん農家目指して研修中です。研修を開始してすでに一年、農業は日々の作業の結果が収穫期まで分からず、その間に定期的な収入もないので、本当に好きでないと続かない職業だと感じました。作業の中で一番難しかったのは、収穫後の選別です。傷だけでなく、形・色・肌などを見て判断するには、まだまだ経験が必要だと思いました。今後は、経営の規模や方針を定めて農地の確保に努めるとともに、機械や設備の設置・修理などに対応できるよう、幅広い技術を習得していきたいです。



研修生：松下 司 氏 (25) [和歌山市]
 研修先：大谷 文章 氏 [海南市]
 研修期間：H25.8～H27.7 (予定)

以前、野菜の栽培・販売に携わっていたことがあり、それがきっかけで農業に興味を持ち就農を考えるようになりました。せっかく和歌山県で農業をするのなら生産が盛んな品目をやってみたいと思い、みかん農家で研修を受けています。実は研修が始まるまで、みかん栽培で忙しいのは収穫時ぐらいだと思っていましたが、実際に研修を受けてみて、消毒・施肥・摘果など一年を通して様々な作業が必要なのだ気づきました。今はまだ教えてもらった方法で作業をこなす毎日ですが、将来は自分の園地で自ら考えて農業経営をしていきたいです。

ウメ輪紋ウイルス（プラムボックスウイルス）に係るこれまでの経過とお願い

昨年5月、和歌山市東部において、ウメ輪紋ウイルス（以下、PPV）の感染樹が県内で初めて確認されました。PPVは、ウメ、モモ、スモモなどに感染し、果実の落果や果実の表面に斑紋が現れるなどの被害を与えます。PPVはアブラムシ類により媒介されるほか、感染した植物の苗木や穂木などの移動により発生地域が広がります。PPVの発生・蔓延を防止するためには、早期に発見し対策を行う事が重要です。生産者の皆様におかれましては、写真（右）の様な症状の樹がありましたら、早急に関係機関にご連絡をお願いします。これまでの調査で、本県におけるPPVの発生は局所的なものと判断しましたが、引き続き樹園地等の調査を行いますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



ウメの葉の病徴
 ドーナツ状の紋（輪紋）
 や斑紋が見られる。

果樹カメムシの予察方法を見直し、より正確な適期防除の啓発に努めます

和海地方病害虫防除対策推進協議会（事務局：農業振興課）では、平成4年度から実施してきた果樹カメムシ類の山林でのビーティング調査および越冬量調査を、次年度から合成集合フェロモンを用いたトラップ調査に切り替えることとしました。今後はフェロモン剤を用いたモニタリング手法を導入し、より正確な適期防除の啓発に努めていきます。平成26年度からスギ・ヒノキ等人工林において、右写真のようなトラップを設置しますので、ご協力・ご理解のほどよろしくお願いします。



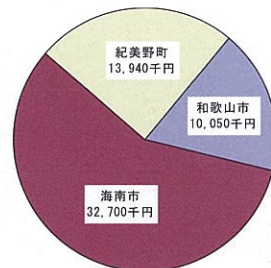
フェロモントラップ

鳥獣害対策について

海草振興局管内における野生鳥獣による農作物被害金額は、平成24年度で約5千7百万円となっています。このうち約9割がイノシシによるもので、温州みかん等を中心とした果樹類が被害の大半を占めています。収穫期を迎えた大切な農作物を野生鳥獣から守るためには、以下の3つの対策について地域ぐるみで取り組むことが重要です。

- ①防 護・・・防護柵を設置
- ②環境整備・・・廃棄果実対策、遊休農地（住みか）の刈り払い等
- ③捕 獲・・・生息密度を下げるための捕獲（狩猟・有害）

県では鳥獣害対策に係る様々な支援策を実施していますので、ご質問やご相談等がある場合はお気軽に農業振興課までお問い合わせ下さい。



管内市町別農作物鳥獣被害金額(H24)

受賞おめでとうございます

和歌山県農林水産業賞

平成 25 年度は次の方が受賞されました。

(農業部門)

横山行雄さん (紀美野町)



(地域づくり部門)

海南市生活研究グループ連合会 (海南市)



この賞は、農林水産業の振興発展並びに農山漁村の活性化に貢献し、業績が特に優れ、ほかの模範となるべき個人及び団体の功績を表すものです。

お知らせ

農業者の利用できる国や県の主な制度資金、事業については下記のとおりです。詳しくは、最寄りの振興局、市町、JA等へお問い合わせください。

制度資金

事業名	内容	貸付限度額
1 農業近代化資金	農業者の経営の近代化に資するための資金です。	農業者1,800万円、法人等2億円
2 就農支援資金	新たに農業を始めようとする青年等に対し、就農を支援するための資金です。	内容により異なるのでお問い合わせください
3 農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)	経営感覚に優れた効率的・安定的な経営体の育成のため、認定農業者の方に融資する資金です。	個人3億円、法人10億円
4 経営体育成強化資金	経営規模の拡大、経営の転換を図る、償還負担の軽減のための資金です。	個人3億円、法人10億円
5 農業改良資金	農業者が農業経営の改善を目的として、新たに創意工夫によるチャレンジ農業への取組開始を支援するための資金です。	個人5,000万円、法人1億5,000万円
6 農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)	経営感覚に優れた効率的・安定的な経営体の育成に資するため、認定農業者に対して、融資する短期(1年以内)運転資金です。	個人500万円、法人2,000万円

注) ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070900/sikin/seidoshikintop.html>

主な国庫事業

事業名	内容	問い合わせ先
1 経営体育成支援事業	経営体の育成・確保を推進するため農業用機械、施設の導入を支援	市町村
2 経営所得安定対策 (米の直接支払交付金)	米の生産目標数量に従って生産する農業者に対して交付金を直接交付	市町村
3 中山間地域等直接支払交付金	中山間地域等での不利な農業生産条件の補正のため、農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付	市町村
4 環境保全型農業直接支払交付金	化学肥料及び農薬の5割削減とセットで行う地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を支援	市町村
5 果樹経営支援対策事業	優良品種・品種への改植・高接、小規模園地整備(園内道の整備、傾斜の緩和、土壌土層改良)等や用水・かん水施設の設置を支援	JA

注) 国庫事業には、これ以外にも集団や組織(JA、生産法人、集落組織等)での施設導入並びに取り組みが対象のメニューもあります。

お知らせ

農業振興課では、ホームページでも農業に関する情報を提供しています。ぜひご覧になって下さい。
URL:<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130100/chiiki/nogyoshinko/nogyoshinko.html>

海草振興局地域振興部農業振興課



編集後記

2015年の国わかやま国体開催まであと約1年、「元気な和歌山」の実現にむけがんばりましょう。

2015 紀の国 わかやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆



2015 紀の国 わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆



この印刷物は地球環境に優しい再生紙、植物油インキを使用しています。